

## 12 よくある誤り

### ① 「区分」の不整合

様式 3 (5) の「区分」が前年度提出様式 2 (4) と異なる場合は、誤りです。  
正しくは、次のとおりです。

様式 3 : 産業廃棄物処理計画実施状況報告書 (第1面)

様式第二号の九(第八条の四の六関係)  
(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月〇〇日

神奈川県知事 殿

提出者 住所 東京都千代田区〇〇町〇-〇

令和6年度提出  
様式3 (第1面)

該当する欄に〇印を記入してください。

3	法定	自主
	○	

令和6年度提出の実施状況報告(様式 3 (5))の区分は、  
令和5年度提出の処理計画(様式 2 (4))と同じ区分になります。

様式 2 : 産業廃棄物処理計画書 (第1面)

様式第二号の八(第八条の四の五関係)  
(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月〇〇日

神奈川県知事 殿

提出者 住所 東京都千代田区〇〇町〇-〇

令和5年度提出  
様式2 (第1面)

2	法定	自主
		○

#### 【誤りの例】

- 令和5年度提出の処理計画(様式 2 (4))の区分が『自主』であったが、令和5年度の排出量(実績)が1,000トン以上であったため、令和6年度提出の実施状況報告(様式 3 (5))の区分は『法定』にした。 ⇒ 『自主』が正しい。
- 令和4年度の排出量(実績)が1,000トン未満であったため、令和5年度の処理計画(様式 2 (4))を提出しなかったが、令和5年度の排出量(実績)が1,000トン以上であったため、令和6年度提出の実施状況報告(様式 3 (5))の区分は『法定』にした。 ⇒ 『自主』が正しい。

② 目標数値の不整合

様式 3 (5) の目標値が前年度提出様式 2 (4) と異なる場合は、誤りです。正しくは、次のとおりです。

※入力箇所は、様式 3-2 (5-2) 「別紙処理フロー (種類ごと)」の左下「令和5年度目標値」欄の「薄水色」セルです。

(別紙一括表) は、「別紙処理フロー (種類ごと)」で入力した数値が反映されますが、入力はできません。数値整合性の確認に使用してください。

様式 3 : 産業廃棄物処理計画実施状況報告書 (別紙一括表)

令和6年度提出  
様式3 (別紙一括表)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書		※このページは、印刷用のページですので、一切入力できません。入力は各廃棄物のフローシート「ア燃え殻→混合廃棄物その他」にてください。														3-1	指定	自主
別紙一括表		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	ソ	ガ	ナ	ニ	ト	合計
令和5年度	① 排出量	45.0	33,000.0	220.0	437.0		278.0											34,205.0
	②+⑧ 自ら再生利用を行った量																	
	⑤ 自ら熱回収を行った量																	
	⑦ 自ら中間処理により減量する量		30,000.0															30,000.0
	⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量																	
	⑩ 全船委託量	45.0	3,000.0	220.0	437.0		278.0				191.0	27.0				7.0	4,205.0	
	⑪ 優良認定事業者への処理委託量	20.0	600.0	80.0	245.0		179.0				10.0	6.0					1,140.0	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	45.0	2,000.0	220.0	437.0		240.0				191.0	27.0				7.0	3,167.0	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量																	50.0
	⑭ 認定熱回収業者以外(熱回収を行う業者)への処理委託量																	35.0
	① 当該事業場における排出量	40.0	31,200.0	200.0	368.0		346.0				182.0	25.0				7.4	32,368.4	

令和5年度目標

様式 2 : 産業廃棄物処理計画書 (別紙一括表)

産業廃棄物処理計画書		※このページは、印刷用のページですので、一切入力できません。入力は各廃棄物のフローシート「ア燃え殻→混合廃棄物その他」にてください。														事業場名称		工場		
別紙一括表		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	ソ	ガ	ナ	ニ	ト	合計	シ	ス
令和5年度	① 排出量	40.0	31,200.0	200.0	368.0		346.0											32,368.4		
	②+⑧ 自ら再生利用を行った量																	0		
	⑤ 自ら熱回収を行った量																	0		
	⑦ 自ら中間処理により減量した量		28,700.0															28,700.0		
	⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量																	0		
	⑩ 全船委託量	40.0	2,500.0	200.0	368.0		346.0				182.0	25.0				7.4	3,668.4			
	⑪ 優良認定事業者への処理委託量	30.0	400.0	78.0	278.0		200.0				12.0	6.0					904.0			
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	40.0	2,300.0	200.0	368.0		230.0				182.0	25.0				7.4	3,352.4			
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量																	130.0		
	⑭ 認定熱回収業者以外(熱回収を行う業者)への処理委託量																	0		
	① 当該事業場における排出量	35.0	29,050.0	195.0	250.0		275.0				163.0	22.0				6.9	29,996.9			
	※1 自社の他事業場からの搬入量																			
	② 自ら直接再生利用する量																			
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量																			
	④ 自ら中間処理する量		28,000.0															28,000.0		
	⑤ ④のうち熱回収を行う量																			
	※2 自社の他事業場での処理量																			
	⑥ 自ら中間処理後の再生利用する量		1,100.0															1,100.0		
	⑦ 自ら中間処理により減量する量		26,900.0															26,900.0		
	⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量																			
	⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量																			
	※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量																			
	⑩ 自ら中間処理後の処理委託量		1,100.0															1,100.0		
	⑪ 中間処理委託量		1,100.0															1,100.0		
	⑫ 再生利用前委託量																			
	⑬ 最終処分委託量																			
	⑭ 下水等放流前委託量																			
	⑮ 最終処分委託量																			
	① 当該事業場における排出量	35.0	1,050.0	195.0	250.0		275.0				163.0	22.0				6.9	1,996.9			
	② 自ら直接再生利用する量																			
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量																			
	④ 自ら中間処理する量		900.0															900.0		
	⑤ ④のうち熱回収を行う量		150.0															150.0		
	⑥ ④のうち再生利用する量																			
	⑦ ④のうち最終処分する量																			
	⑧ ④のうち下水等放流前委託する量																			
	⑨ ④のうち最終処分委託する量																			
	⑩ ④のうち再生利用前委託する量																			
	⑪ ④のうち最終処分委託する量																			
	⑫ ④のうち下水等放流前委託する量																			
	⑬ ④のうち最終処分委託する量																			
	⑭ ④のうち再生利用前委託する量																			
	⑮ ④のうち最終処分委託する量																			
	⑯ ④のうち下水等放流前委託する量																			
	⑰ ④のうち最終処分委託する量																			
	⑱ ④のうち再生利用前委託する量																			
	⑲ ④のうち最終処分委託する量																			
	⑳ ④のうち下水等放流前委託する量																			
	㉑ ④のうち最終処分委託する量																			
	㉒ ④のうち再生利用前委託する量																			
	㉓ ④のうち最終処分委託する量																			
	㉔ ④のうち下水等放流前委託する量																			
	㉕ ④のうち最終処分委託する量																			
	㉖ ④のうち再生利用前委託する量																			
	㉗ ④のうち最終処分委託する量																			
	㉘ ④のうち下水等放流前委託する量																			
	㉙ ④のうち最終処分委託する量																			
	㉚ ④のうち再生利用前委託する量																			
	㉛ ④のうち最終処分委託する量																			
	㉜ ④のうち下水等放流前委託する量																			
	㉝ ④のうち最終処分委託する量																			
	㉞ ④のうち再生利用前委託する量																			
	㉟ ④のうち最終処分委託する量																			
	㊱ ④のうち下水等放流前委託する量																			
	㊲ ④のうち最終処分委託する量																			
	㊳ ④のうち再生利用前委託する量																			
	㊴ ④のうち最終処分委託する量																			
	㊵ ④のうち下水等放流前委託する量																			
	㊶ ④のうち最終処分委託する量																			
	㊷ ④のうち再生利用前委託する量																			
	㊸ ④のうち最終処分委託する量																			
	㊹ ④のうち下水等放流前委託する量																			
	㊺ ④のうち最終処分委託する量																			
	㊻ ④のうち再生利用前委託する量																			
	㊼ ④のうち最終処分委託する量																			
	㊽ ④のうち下水等放流前委託する量																			
	㊾ ④のうち最終処分委託する量																			
	㊿ ④のうち再生利用前委託する量																			

令和5年度目標

整合

令和5年度提出  
様式2 (別紙一括表)

- 前年度提出の処理計画 (様式 2 (4)) で定めた目標値を変更することはできません。
- 廃棄物の種類ごとの内訳、委託先の内訳 (再生利用委託か否か、優良認定事業者への委託量) を含めて同じ数値が入ります。

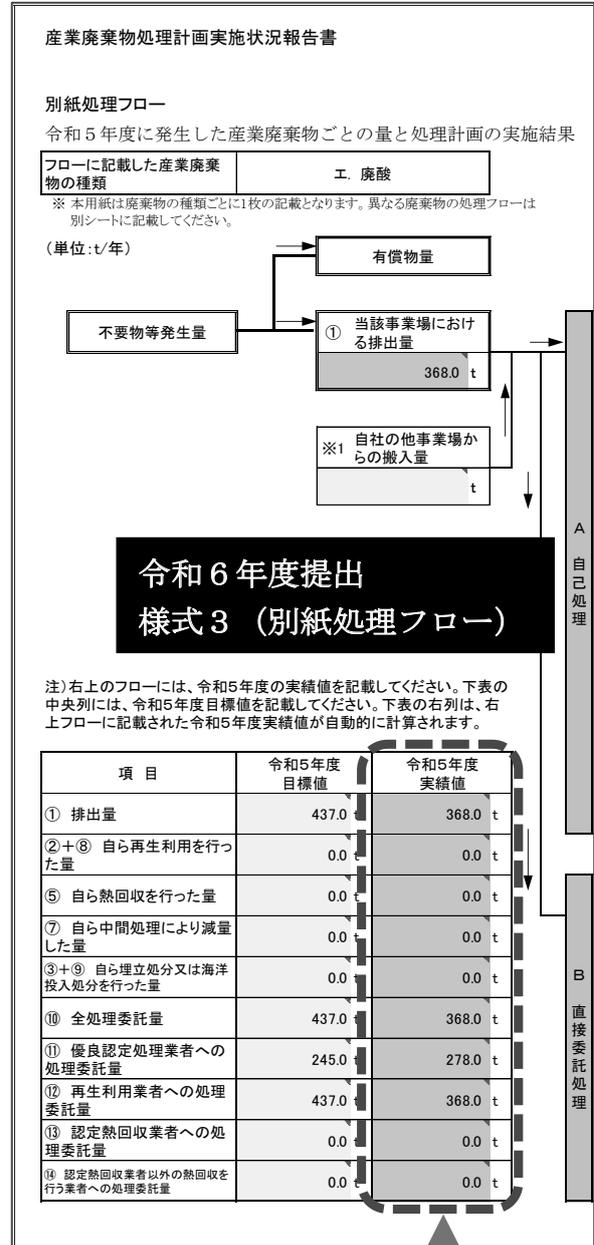
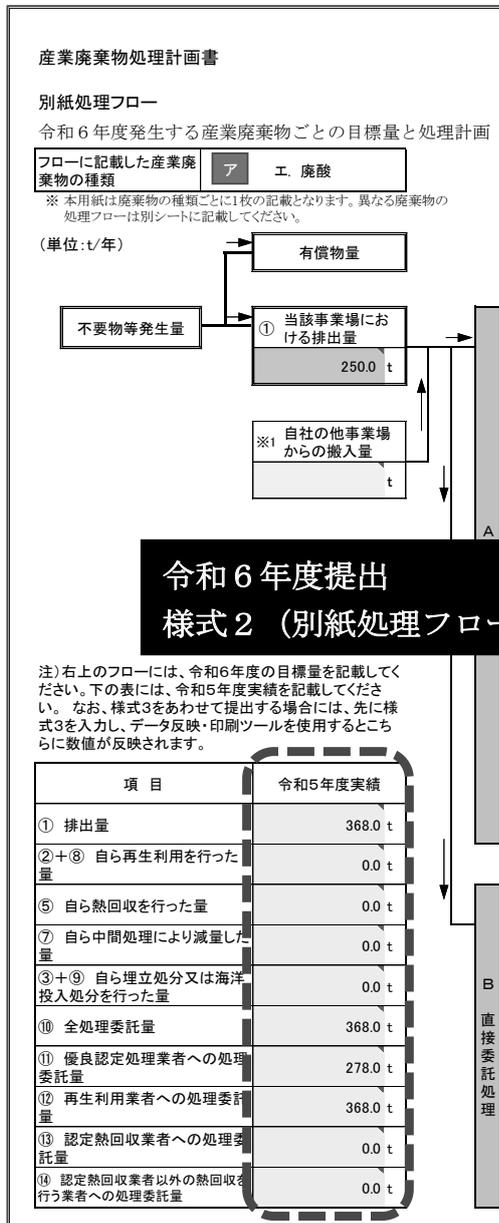
### ③ 実績数値の不整合

様式 2-2 (4-2) と様式 3-2 (5-2) の実績値が異なる場合は、誤りです。

正しくは、次のとおりです。

様式 2 : 産業廃棄物処理計画書  
(様式 2-2 「別紙処理フロー」)

様式 3 : 産業廃棄物処理計画実施状況報告書  
(様式 3-2 「別紙処理フロー」)



整合

- いずれも令和5年度実績値であり、それぞれの項目について同じ数値が入ります。
- 様式 3-2 (5-2) から様式 2-2 (4-2) への反映については、P. 10を参照してください。

## ④ 処理委託量の不整合

「別紙処理フロー」(様式 2-2、4-2、3-2、5-2) の⑩「直接及び自ら中間処理後の処理委託量」より、(⑫+⑬+⑭) の合計値が上回る場合は、誤りです。

※上記⑫～⑭は、「別紙処理フロー」の項目です。

⑫…「⑩のうち再生利用業者への処理委託量」

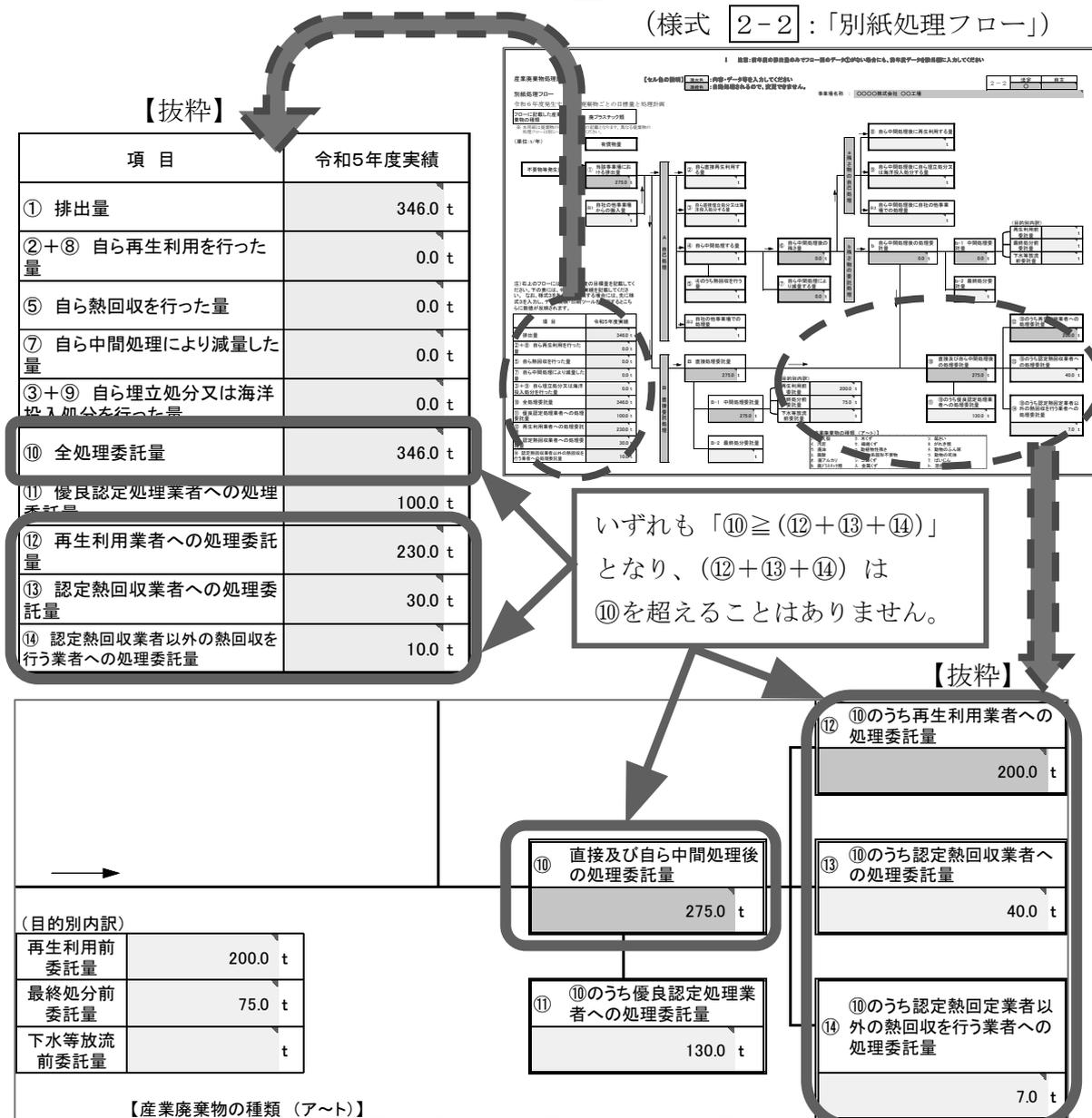
⑬…「⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量」

⑭…「⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量」

正しくは、次のとおりです。

様式 2: 産業廃棄物処理計画書

(様式 2-2: 「別紙処理フロー」)



- ⑩の処理委託量のうち、⑫・⑬・⑭に当てはまる場合⑫・⑬・⑭へ記載します。そのため、(⑫+⑬+⑭)は、⑩を超えることはありません。
- 委託した産業廃棄物が焼却後に路盤材として再生された場合、その焼却が発電焼却等であっても熱回収(⑬、⑭)には含めず、すべて⑫となるため(目的別内訳)再生利用前委託量に含めてください。

⑤ 「一連の処理の工程」の不整合

- I. 様式 2 (4) 第1面「④一連の処理の工程」の種類数と第2面「産業廃棄物の種類数」が異なる場合は、誤りです。
- II. 様式 2 (4) 第1面「④一連の処理の工程」と様式 3 (5) における「排出量実績の内訳」内容が異なる場合は、誤りです。

正しくは、次のとおりです。

様式 2 : 産業廃棄物処理計画書 (第1面)

様式第二号の八(第八条の四の五関係) (第1面)

2 法定 自主

産業廃棄物処理計画書 令和6年6月00日

神奈川県知事 殿

提出者  
住所 東京都千代田区〇〇町〇-〇  
〇〇〇株式会社  
代表取締役 〇〇 〇〇  
法人にあっては、名称及び代表者の氏名  
電話番号 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

令和6年度提出  
様式2 (第1面)

事業場の名称 〇〇〇株式会社 〇〇工場 自主管理番号 〇〇〇〇

事業場の所在地 〇〇市〇〇町〇-〇 TEL(連絡先): 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

計画期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年間)

当該事業場に関する事項

① 事業の種類	E16-化学工業 (具体的には) 162 無機化学工業製品製造業
② 事業の規模	製造業 製造品出荷額 5,500 百万円
	建設業 エリア内元請完成工事高 百万円
	医療機関 病床数 床
	その他の業種 売上高 百万円

③ 従業員数 250名

④ 産業廃棄物の一連の処理の工程

- 〇燃え殻⇒コンクリート固形化⇒埋立
- 〇汚泥⇒焼却⇒埋立
- 〇廃油⇒油水分離⇒動燃剤
- 〇廃酸⇒焼却⇒埋立
- 〇廃プラスチック類⇒破砕・圧縮⇒再資源化
- 〇空缶(ず)⇒破砕⇒再資源化
- 〇ガラス・コンクリート・陶磁器(ず)⇒破砕⇒再資源化
- 〇ばいじん⇒薬注入固化⇒再資源化

8種類

I. 様式 2 : 産業廃棄物処理計画書 (第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (第2面)

令和6年度提出  
様式2 (第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【令和6年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類数 8 種類

③ 排出量 32,368.4 t

① 現状

② 計画

「別紙処理フロー」へ  
「8種類」の計画を入力

II. 様式 3 : 産業廃棄物処理計画実施状況報告書 (別紙一括表)

令和6年度提出  
様式3 (別紙一括表)

事業場	事業の種類	事業の規模	従業員数	産業廃棄物の種類数	排出量	処理方法	処理率	備考
〇〇〇株式会社 〇〇工場	E16-化学工業	製造業	250名	8種類	32,368.4 t	焼却・埋立	100%	

内訳内容の整合

【誤りの例】

- 「一連の処理の工程」には6種類の産業廃棄物の処理の工程を記載したが、「別紙処理フロー」は8種類の計画を予定している。 ⇒ 様式 2 (4) 「別紙処理フロー」が8種類であれば、(第1面)「一連の処理の工程」も8種類の産業廃棄物の処理工程を記載してください。
- 「一連の処理の工程」では全量を再生利用と記載したが、「排出量実績の内訳」では全量が最終処分委託であるような著しい相違がある場合。